

トラック乗務時の安全教育などに比べ、見落とされがちなフォークリフトの安全対策。フォークリフトの労働災害における死傷者数は毎年2000人前後

であるにもかかわらず、作業員一人ひとりの意識に任せきりで、

対策を講じていない企業も多いのではないだろうか。

「ヒヤリハントリー」を

販売している。販売から約6年となるが、顧客の要望でオプションを追加するなど日々バージョンアップして

置。ICタグを持った

作業員が磁界に入ると警報が鳴るとい

選ぶこともできる。カメラで検知できな

マトリックス ICタグと磁界で 衝突事故を防ぐ

い物陰も検知し、導入した企業からは「見えない場所の人に気づくことができるようになった」「作業者として」

調節が可能。倉庫や工場などで利用出来る様に開発したICタグは、持ち運びや作業の邪魔にならないコンパクトサイズなのも魅力だ。電池は最長約3年と長持ちし、タグの電池残量を確認する機能も追加されている。



2015年3月に販売を開始してから、現在まで約5000台を

(写真左から) 福永十夢氏、塩田主任、小野山浩通氏

「緑十字展2021」で開催される「働く人の安心づくりフェア in 東京」に出展し、安全管理をメインテーマに4種類の製品を展示する。

(木村麻理奈)